

平成31年 第1回別海町教育委員会 会議録

- 1 開催日時 平成31年2月18日(月)
午前10時00分から午前11時05分まで
- 2 開催場所 別海町役場 町議会第2委員会室
- 3 出席者 (5名)
- | | |
|------|-------|
| 教育長 | 伊藤多加志 |
| 教育委員 | 大塚保男 |
| 教育委員 | 木村江里 |
| 教育委員 | 伊勢浩子 |
| 教育委員 | 粥川一芳 |
- 4 出席職員 (14名)
- | | |
|----------|--------|
| 部長 | 山田一志 |
| 部次長 | 石川誠 |
| 指導主幹 | 住吉幹城 |
| 指導参事 | 根本渉 |
| 学務課長 | 入倉伸顕 |
| 学務課主幹 | 谷村将志 |
| 学務課主査 | 佐藤亮 |
| 学務課主査 | 大山晋作 |
| 生涯学習課主査 | 佐々木いずみ |
| 中央公民館長 | 内山宏 |
| 中央公民館副館長 | 浦山佳代子 |
| 西公民館長 | 田村康行 |
| 東公民館長 | 福原義人 |
| 図書館長 | 千葉宏 |
- 5 議事日程 協議案第1号 平成31年度教育行政執行方針について
報告第1号 町内小、中学校等の卒業式等の日程について

－【開 会】－

伊藤教育長

ただいまから平成31年第1回の別海町教育委員会を開会いたします。

本日の出席者は5名ですので、別海町教育委員会会議規則第5条の定足数に達していますので、会議は成立いたします。

開会に当たり、私から一言ご挨拶申し上げます。

本日は、ご多用の中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

平成31年第1回目の教育委員会議となります。

先月7日に行われました「第71回別海町成人式」も無事終わることができました。ご出席ありがとうございました。

多くの若者たちが、この日にあわせて、ふるさと・別海に帰ってきました。当日は、114名の出席でした。

早いもので2月も後半となり、スケートシーズンも終わりますが、各地区のスケートリンクも多くの子どもたちが利用していました。

それぞれ地域の方、学校の先生方が、スケートリンクの造成、維持にあたっていました。

また、中学生の全道スケート大会、全国大会、高校生の全国大会、釧路で行われました国体などでは、本町の中学生、そして本町出身の選手が大変活躍していました。

中学生の全道大会では、上春別中学校の男子が、2000メートルリレーで優勝しました。小さな学校の子どもたちが、全道で優勝です。すばらしいことだと思います。

中学生の全国スケート大会には、今年も本町から8名の生徒が出場しました。

話は変わりますが、先日の新聞にも出ていましたが、別海高校の出願者数が、普通科93名、酪農経営科7名となりました。

教育委員会でも、出願者数がはっきりするまでは、大変心配していましたが、3間口が維持できることになりました。

別海高校や町内各中学校でも、入学者数確保、3間口維持に向けて、いろいろ取り組んでいただき、感謝しております。

教育委員会としましても、これからもしっかりと支援をしていきたいと考えております。

これから学校では、1年間で一番忙しくあわただしい時期に入ってきます。中学校では、高校入試が始まりました。いよいよ受験シーズンとなります。

インフルエンザも大変流行してきています。十分気を付けていきたいと思います。

それでは、本日の日程に入ります。よろしくお願いいたします。

－【前回会議録の承認】－

伊藤教育長

日程第２前回会議録の承認に入ります。

平成３０年第１４回の会議録について、事前に各委員さんに事務局から送付しておりますので、訂正御意見等ありましたら発言をお願いいたします。

（「なし」の声あり）

伊藤教育長

なければ、会議録について承認することとしてよろしいですか。

（「はい」の声あり）

伊藤教育長

平成３０年第１４回の会議録を承認することといたします。

－【報 告】－

伊藤教育長

それでは日程第３報告に入ります。

１２月４日に開催されました第１４回教育委員会議から本日までの行事や実施事業等について事務局から報告願います。

教育部長

それでは私のほうから１２月４日に開催されました第１４回教育委員会議以降から今日までの主な行事や実施事業等について御報告を申し上げます。

１２月４日午前１０時から、第１４回教育委員会議が行われました。

１２月４日午前１１時から、平成３０年度別海町文化功労者、別海町スポーツ功労者表彰式が行われました。

１２月５日午前１０時から、平成３０年度別海町優良勤労者表彰式が行われました。

１２月５日午後１時２０分から、ぷらとにて、平成３０年度根室管内小中学校事務研究大会が行われました。

１２月６日午前１０時から、第９回全員協議会が行われました。

１２月６日、７日、平成３１年度人事異動に係る教頭面接が行われました。

１２月７日午後３時から、校長会教頭会合同会議が行われました。

１２月１０日午後１時から、別海高等学校酪農経営科海外派遣事業報告に伴う表敬訪問がありました。

１２月１１日から１４日まで、別海町議会第４回定例会が行われました。

１２月１３日午後１時３０分から、第７次総合計画第３回策定会議が行われました。

１２月１３日午後４時から、第１０回西日本選抜女子学童野球岡山大会出場にあたっての表敬訪問がありました。

１２月１７日、中標津町役場にて、午後１時３０分から平成３０年度第

3 回根室管内市町教育委員会教育長会議、午後 3 時から平成 3 0 年度根室管内女性教員活躍推進会議が行われました。

1 2 月 1 9 日午後 1 時 3 0 分から、上風連中学校にて、上風連学校区保小中交流研修会、教育長学校出前トークが行われました。

1 2 月 2 1 日午後 7 時から、別海高等学校にて、第 3 回別海高等学校学校運営協議会が行われました。

1 2 月 2 5 日午前 1 0 時 3 0 分から、別海町パイロットマラソン第 4 回実行委員会が行われました。

1 2 月 2 6 日、寺井建設株式会社様より図書購入費寄付がありました。今年で 1 4 回目になります。

1 2 月 2 7 日午前 1 0 時から、第 3 回予算編成等対策会議が行われました。

1 2 月 2 7 日午後 1 時 3 0 分から、第 1 0 回西日本選抜女子学童野球岡山大会結果報告の表敬訪問がありました。

1 2 月 2 8 日、仕事納め。午後 4 時 4 5 分から教育長年末挨拶、午後 5 時から町長年末挨拶が行われました。

1 2 月 2 9 日午前 9 時から、別海町スピードスケート記録会、別海町体育協会長杯が行われました。

年が変わりまして、平成 3 1 年 1 月です。

1 月 3 日午前 9 時から、町営スケートリンクにて、別海町新春スプリント大会、山根杯が行われました。

1 月 5 日午前 1 0 時から、消防庁舎前駐車場・中央公民館にて、平成 3 1 年別海消防団出初式が行われました。

1 月 5 日、平成 3 1 年別海町新年交礼会が行われました。

1 月 7 日、仕事始め。午前 9 時から町長年頭挨拶、午前 9 時 3 0 分から教育長年頭挨拶が行われました。

1 月 7 日午後 1 時 3 0 分から、中央公民館にて、平成 3 1 年第 7 1 回別海町成人式が行われました。

1 月 1 1 日午前 1 0 時から、中西別小学校にて、中西別学校区コミュニティ・スクール推進委員会、教育長学校出前トークが行われました。

同日午後 1 時 3 0 分から、定例校長会議が行われました。

1 月 1 5 日午前 1 0 時から、第 1 回総務文教常任委員会が行われました。

1 月 2 0 日午前 9 時 5 0 分から、「すくすく学級 おとうさんもいっしょ」が行われました。

1 月 2 1 日午前 9 時から、平成 3 0 年度定期監査に係る報告書の提出

が行われました。

1月23日午後4時から、中春別小学校、中春別中学校の全道リコーダーコンテスト受賞報告がありました。

1月27日午前9時から、町営スケートリンクにて、第49回別海町町民スケート大会が行われました。

1月28日午後2時10分から、上春別小学校にて、上春別小、中学校交流会、教育長学校出前トークが行われました。

同日午後4時30分から、平成30年度全国中学校体育大会第39回全国中学校スケート大会出場にあたって表敬訪問が行われました。

別海中央中学校4名、上春別中学校3名、上西春別中学校1名、計8名が表敬訪問に訪れました。

1月31日午後4時から、第3回別海町立幼稚園園長会議が行われました。

月が変わりまして、2月です。

2月1日午前10時から、第4回予算編成等対策会議が行われました。

2月2日午前10時から、中央公民館にて、第43回別海町少年少女下の句カルタ大会が行われました。

同日午前10時15分から、マルチメディア館にて、平成30年度別海町障がい者等理解促進研修・啓発事業講演会が行われました。

2月3日午前8時45分から、西春別駅前リンクにて、第37回西部地区スケート大会が行われました。

2月4日午後2時から、第41回自然環境保全及び公害防止ポスターコンクール審査会が行われました。

2月6日午後5時から、中央公民館にて第50回別海町書初め展作品審査が行われました。

2月8日午後1時30分から、定例校長会義が行われました。

同日午後6時から、石川屋旅館にて、退職校長を囲む会が行われました。

2月8日午後7時から、別海高等学校にて、第4回別海高等学校学校運営協議会が行われました。

2月14日午前10時から、第7次総合計画第4回策定会議が行われました。

2月15日午前10時30分から、第2回別海町学校給食センター運営委員会が行われました。

2月15日、別海中央小学校で月例公開研究会が行われました。

以上で報告を終わります。

－【議 事】－

伊藤教育長

それでは、これから日程第４議事に入ります。

協議案第１号平成３１年度教育行政執行方針について事務局から説明願います。

教育部長

それでは協議案第１号平成３１年度教育行政執行方針の概要について御説明いたします。

事前に委員の皆様には、お配りをしておりました行政執行方針案ですが、町長の行政執行方針の表現などのすり合わせがありまして、若干言い回し等に修正が加わっておりますので、本日は、見え消し版というこの資料により、御説明をまいります。

それでは１ページ目をお開きください。

平成３１年度は、町の第７次別海町総合計画のスタートの年ということで、行政執行方針につきましても、『第７次別海町総合計画』に掲げるまちのめざすべき将来像『人がつながり 未来につながる 海と大地に夢があふれるまち ～いつも心に広がるふるさと べつかい～』の実現に向け、町長部局や関係機関と連携を図りながら、基本目標の一つである『生涯を通じて人と文化を育むまちづくり』、これが教育委員会にかかわる部分の基本の目標となりますが、これらに関する施策を地域ぐるみで推進するということを前段で述べております。

また、施策の推進に当たっては、別海町総合計画の社会教育分野の計画として位置づけております、『第４次別海町社会中期振興計画』に基づき、基本推進目標である「ふるさとに学び つながり まちを創る」の実現をめざし、連動した取組みを推進するということを述べております。

以下、「すべての世代が学べる社会教育の推進」「将来を生き抜く力を育む学校教育の充実」「郷土愛と社会性を育む青少年の健全育成」「地域に根ざし個性あふれる地域文化の振興」「活力に満ちた地域をつくるスポーツの振興」の５点から、平成３１年度に取組む施策の概要について基本的な考え方について述べさせていただきます。

大きな２番目としまして、主要施策の１点目、『全ての世代が学べる社会教育の推進』についてです。

前段として、少子超高齢化社会の進行や情報通信技術の急速な発展により、社会環境や家庭生活は大きく変化し、求められる学習ニーズも多様化しているという現代の状況にふれております。

すべての町民が本町の「学びの木」に示す成長の発達課題を達成し生きがいを持って暮らせる社会を実現するためには、生涯にわたって学習できる環境を整えることが必要であり、それは一人ひとりの人生を豊か

にするだけではなく、魅力と活力ある地域づくりにつながります。身近な学びの拠点である３つの公民館や図書館等を中心に町民の多様な学習を支援するというようになります。

公民館では、具体的に申し上げますと、「乳幼児母親家庭教育学級　すくすく学級」や、小学校では学ぶことのできない特色ある体験的学習活動を行う「アドベンチャースクール」、「子ども体験塾」、「チャレンジスクール」、さらには高齢者が社会的活動に参加する意欲や生きがいを高めるための学習・交流の場である「平成寿大学」など、幅広い世代の学習ニーズに対応できる学習機会を引続き提供し、人と人とのつながりを大切にする地域コミュニティの形成に努めます。

また、図書館では、「ブックスタート事業」の継続及び乳幼児と保護者が利用しやすい環境整備に取り組むほか、学校との連携により「学校図書室」の環境改善を図り、授業で使用する資料貸出しやブックトーク等も実施します。

また、移動図書館車の運行や上西春別中学校に設置した「地域開放型図書室」の充実にも努めながら、読書率の向上を図ります。

次に、「生涯学習センター」については、２０２２年度の供用開始に向けて、施設の運用や事業の具体化について準備を進めます。

今後も社会教育施設を活用しきれていない現状もあることから、「学校応援ボランティアリスト」の充実など、地域と学校が一体となる取組を進めます。

また、子どもたちが将来の担い手としての資質を高めるため、子どもたち自身が自分の住む地域やまちに興味や関心を持ち、町政に参画する第一歩となる場として『べっかい町子ども未来議会』を、平成３０年度以降、小学生、中学生、高校生を対象に順次３年間実施するということを述べています。

『生き抜く力を育む学校教育の充実』についてです。

これからの社会は、人工知能やＩｏＴをはじめとする急速な技術革新やグローバル化の進展により、大きく変化することが予想されており、文部科学省では、これからの時代を「変化が激しく予測困難な時代」としています。そのような状況の中、子どもたちには、これまでの知識や価値観だけでは対応できない時代を生き抜く力が求められており、本町の学校教育においても、学校・家庭・地域が協働しながら子どもたちの成長を支えていく必要があると捉えております。

このことから、本町では、「地域の子どもは地域が育てる」を合言葉に、地域住民が学校運営や必要な支援について話し合い、協働を進める「コミ

コミュニティ・スクール」を町内全ての学校区で試行を含め実施しています。

平成31年度からは上春別学校区に、2年間の試行期間が終わった野付、中西別、上西春別学校区を加えた4学校区で本格実施となります。

今後も、全学校区で『地域でめざす子ども像』を土台にして、より保幼小中連携の強化を図り、地域の特色を活かした別海型コミュニティ・スクールを推進していきます。

本町の独自事業である「生き抜く力アッププロジェクト事業」では、子どもたちの「学力向上」に向け、「別海町子どもの読書活動推進計画」に基づき、図書館司書と連携した魅力ある学校図書館づくり、教育に新聞を活用するNIE活動を積極的に進めています。

今後も、「学びの土台」となる読解力等の向上に努めます。

また、子どもたちの「学力向上」には、子どもたちの学力向上だけではなく、教師力の向上が不可欠です。秋田県横手市などの先進地を参考に「別海型授業スタイル」を構築し、全教員が授業改善に取り組みます。

さらに、グローバル化をはじめとした将来を生き抜く力の一つとして本町にいる2名の外国語指導助手である外国人のALTを2名増員し、4名体制で外国語の充実と強化を推進します。

全国的に問題となっている不登校対応については、スクールカウンセラーや「ふれあいるーむ」の指導員との連携を一層進めるとともに、現在、別海中央小学校に配置しているスクールソーシャルワーカーについても、町内全校で組織的対応を図りながら、積極的な登校支援に向けた取組を行います。

特別支援教育の充実では、年々増加傾向にある通常学級で配慮が必要な児童・生徒に対応するため、現在、別海中央小学校のみで実施している「通常学級における通級指導」について、新たな地区への設置に向けた調査や研究を進めます。

また、特別支援教育に関する教員の専門性の向上を目的に、研修を推進していきます。

さらに、これまでの特別支援教育支援員に、宿泊を伴う学習指導上の支援を補助する介助員を加え、特別支援教育の充実を図ります。

幼児教育については、「幼児期の終わりまでに育ってほしい幼児の姿」を幼児教育と義務教育現場で共有し、「別海版接続カリキュラム」を活用しながら、小学校スタートカリキュラムを協働で作成するなど、就学段階における滑らかな学びの連携を図ります。

学校給食センターは、工事完了を迎えます2020年度の運用開始に向け、各学校等と連携した食育の場としての活用など事業の具体化につ

いて検討を進めます。

それから、地域づくりを担う若者の健全育成において、地域に根ざした高等学校教育の継続をめざして、地元、別海高等学校の普通科3間口の確保及び酪農経営科生徒の増員を図るため、これまで同様、寄宿施設利用者への助成をはじめとした各種支援事業を継続していきます。

次に、7ページ。『郷土愛と社会性を育む青少年の健全育成』にうつります。

近年、少子化、核家族化等による人間関係の希薄化、基本的な生活習慣の確立不足が社会的な問題とされています。

そのような中、青少年が本町の次世代の担い手として、豊かな社会性とふるさと「べつかい」への郷土愛を培うよう、各施策に取り組みます。

「ふるさと教育」は、ふるさと「べつかい」を知り、ふるさと「べつかい」に戻る意識を醸成する取組です。

平成30年度に、本町の「加賀家文書館」の加賀伝蔵が、北海道教育委員会が作成した「北海道版道徳教材 きたものがたり 中学校版」に、偉人として掲載され、現在、全道の中学校で活用されています。

本町についても引続き「加賀家文書館」をはじめとした社会教育施設を積極的に活用しながら、社会性と郷土愛を育むことを目的に、ふるさと教育及び学校における道徳科の授業の充実に努めます。

さらに、「スイッチOFF22」の取組を継続し、本町の生涯学習研究所が行った調査結果を活用するなど、『情報モラル教育』の一層の充実を図ります。

いじめ未然防止対策については、「別海町子どものいじめ防止に関する基本方針」に基づき、日常からの児童生徒観察をもとに、道教委が実施している、いじめアンケート調査等を活用し、いじめの早期発見と積極的認知に努め、学校全体での早期対応を行います。

平成5年度から継続して実施している中学生の相互訪問を行う『少年少女ふれあいの翼交流事業』は、平成31年度は16名の生徒が、友好都市である枚方市への訪問を予定しています。

今後も、重要な事業としての位置づけのもと、事業内容の見直しと充実を図りながら事業を推進してまいります。

『地域に根ざし個性あふれる地域文化の振興』にうつります。

芸術・文化は、一人ひとりの人生に楽しみと潤いをもたらし、地域の活気と魅力を引出すことに大きな役割を果たしており、町民が主体的に活動することにより文化の継承につながります。

地域文化が、しっかりと地域に根ざし個性あふれるものとなるために、

各公民館や郷土資料館が中心となって、学びや芸術文化に触れる機会を提供し、地域文化の振興に取り組みます。

また、活発な活動を展開する別海町文化連盟の各団体や、自主的な活動を行うサークルと一層の連携を図り、多くの町民が積極的に芸術・文化活動を実践できるよう支援します。

また、奥行地区には、貴重な交通遺跡が集中している珍しい地域であることから、これらの文化財を観光資源として活用する検討を進めます。

北海道天然記念物に指定されている、西別湿原ヤチカンバ群落地の恒久的な保護を目的に、植物の専門家による「保護対策検討委員会」を設置し、保護対策と管理に努めていますが、今後は、国の天然記念物指定に向け、引続き調査・研究を進めます。

施設の老朽化が課題となっている郷土資料館ですが、今後の整備方針を検討するとともに、引続き町の歴史、文化や自然に関わる資料の収集、整理保管、調査研究を進め、展示物の充実に努めます。

また、ふるさと別海への愛郷心の高揚を図るため「ふるさと講座」や「郷土学習出前講座」を実施するとともに、産業を立体的に表すジオラマ等を積極的に活用した「出前移動展」などの教育普及活動を展開します。

11 ページです。『活力に満ちた地域をつくるスポーツの振興』について。

明るく豊かで活力に満ちた地域社会をつくる上で、スポーツは大きな役割を担っています。

スポーツを行う上で欠かせない施設整備では、大きなものとして町民体育館が平成31年度からリニューアルオープンします。

次年度、特に大きな改修等は予定されておりませんが、町教育委員会の考え方として、今後も長期的な視点に立って、施設の修繕・補修を行いながら施設の機能の充実に図り、利用の促進を行っていきます。

すべての町民が、それぞれの体力や年齢に応じたスポーツ活動を通じ、健康の維持・増進と町内外におけるスポーツ交流が進められるよう、体育協会等と連携し、地域の特性を活かした四季折々のスポーツを推進します。

気軽にできるスポーツの普及に努め、障がいのある人も気軽にスポーツ活動に参加できるよう、関係団体とも連携を深め、パラスポーツや健常者との交流を目的とした新たな取組みについても検討し、「町民皆スポーツ」の実現をめざします。

平成30年度、荒天により中止となりましたが、道東地区唯一の公認

フルマラソンコースで開催する「別海町パイロットマラソン」は、多くのボランティアの方々に支えられ、本町を代表するスポーツイベントへと成長しました。

平成31年度も地域全体が協働・参加するマラソン大会として、スポーツ交流による人づくりとまちづくりをめざすとともに、道内外から多くのランナーの参加が得られるよう充実に努め、引続き町の魅力を発信します。

また、競技力向上セミナー等を実施し、引続き地域におけるスポーツ競技の振興を図ってまいります。

『むすび』としまして、平成31年度教育行政執行に係る方針の実現に当たっては、町民の参画・協働のもと行政と一体となり、町総ぐるみで取組みを進めていくことが大切です。

別海町教育委員会として、将来を担う本町で育つ子どもたちのために、ふるさと「べつかい」に誇りを持ち、自らの力で明るい未来を切り開いていくことができるよう、学校・家庭・地域と密接な連携を図りながら「連携・共有・発信・工夫」をテーマに学校教育を進めるとともに、全町民が生涯にわたって学び続けることができるよう、生涯学習の視点から本町の教育振興・発展に取り組んでいくとしております。

以上で説明いたします。

伊藤教育長

内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたらお受けいたします。

大塚委員

冒頭に記載がありますように、平成31年度からスタートする『第7次別海町総合計画』に基づいて執行方針を定めているということで、施策として述べられていることについては非常に良いと思います。

その中で一点。昨年度までの教育行政執行方針の内容では、生涯学習の振興が主要施策の一番目にありました。

今年度からは、『生涯学習の振興』という項目をなくしたことについてお聞かせください。

もう一点が、特別支援教育支援員と特別支援教育介助員についてありますが、介助員と支援員の職務・任務などの違い等について教えてください。

伊藤教育長
教育部長

それでは、事務局から説明願います。

一点目の、生涯学習の振興についてですが、考え方について大きく変えるつもりはありませんし、生涯学習についても引き続き継承していくものです。

総合計画のスタートの年として、組立として行政執行方針を作ったた

大塚委員

教育部長
伊藤教育長
学務課長

め生涯学習としての記載はありませんが、社会教育としてこれまでの考え方を踏襲しております。

経過として、表現が適切ではないというものであれば検討してまいります。

生涯学習の振興がいつから掲げられているかわからないが、その流れが変わらないという考え方でよろしいでしょうか。

過去の流れを理解した上で、その流れについては変更ありません。

それでは、二点目についてお願いします。

ご質問のありました、特別支援教育支援員の特別支援教育介助員の追加について説明いたします。

別海町教育委員会としまして、町内小中学校・幼稚園において障がいを持つ幼児・児童・生徒に対する学校生活上の介助、学習指導の支援を行うために、これまで特別支援員を配置してまいりました。

このような状況の中、各団体からの要望、学校からの希望等を踏まえ教育委員会としまして重要な施策と位置付けることから、特別支援の充実を図ろうということで、今回教育行政執行方針に掲載すると共に、要綱を改正して取り組みを進めたいと考えております。

質問のありました、職務・任務ですがいくつかあります。

基本的な生活習慣の確立のための日常生活上の介助に関すること、学習支援に関すること、教室間移動等における介助に関すること、健康・安全確保等に関すること、運動会等の学校行事における介助に関すること、周囲の幼児・児童・生徒の理解促進に関すること。

これらについては、介助員、支援員ともに同じ職務となっております。

介助員につきましては、これらの職務に修学旅行等の宿泊を伴う学校行事の付き添いを加えるものです。

よって基本的な勤務条件・勤務時間等の変わりはありませんが、宿泊を伴うときには、それに伴う追加の旅費等が支給されることとなります。

また、今回要綱の改正に伴い、支援員等は学級担任そして担当教員の補助として位置づけられるということを認識してもらうこと、また、当該担任等と密接に連携を行い業務に当たってもらうこと、さらには退職後においても職務上知りえた秘密を漏らしてはいけないということを規定しております。

なお、介助員の任命要件としましては、医師・看護師若しくは介護福祉士及びそれに準ずるものとしております。

それでも人の確保が困難であると考えていることから、これらの目標を達成するために、教育長及び医療機関が特に必要と認めたものを任命

	の要件としております。 これらの要件を整え、特別支援教育の充実を進めていきたいと考えております。
大塚委員	ありがとうございました。内容については理解しました。 特別支援教育支援員の任命要件はどのようなになっていますか。
学務課長	特別支援教育支援員につきましては、教育職員免許状所有者及びそれに準ずるものとし、保育士免許状、支援員に関する識見や経験を要するものと位置付けて、任命しております。 また、先程説明したとおり、それでも人の確保が難しい部分がありますので、目的を達成するために要綱に定め、適当と認めた方を任命しているのが現状です。
大塚委員	ありがとうございます。人材を探すことは非常に大変かと思います。学校現場で特にそういった人材の必要性を把握したうえで、なんとか要望に応えられるように努めていただきたいと思います。
伊藤教育長 木村委員	そのほかございませんでしょうか。 意見となりますが、新しい執行方針を出すにあたって、町民の中から意見が出ていましたので、お聞きします。 図書館の開館時間や日時が、働いている方が使用しづらい現状があるとのことです。 また、子供さんが長期休暇の期間や、学校が休みの日に閉館時間が早いので、勉強や調べものがしづらいとのことです。 2022年オープン予定の生涯学習センターについても同じこととなるのでしょうかとの疑問を持たれている様です。 そのような町民の意見に対応できるように、今後検討をお願いしたいと思います。
伊藤教育長 大塚委員	そのほかございませんか。 4月1日オープン予定の町民体育館の工事の進捗状況をお願いします。
教育部次長	ただ今工事中の町民体育館ですが、工事が順調に進んでおりまして、3月22日に一般オープンで調整しております。
伊藤教育長	そのほかございませんか。 ないようでしたら、協議案第1号について、原案のとおり可決することとしてよろしいでしょうか。 （「なし」の声あり）
伊藤教育長	それでは協議案第1号について原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

伊藤教育長

意義がないようですので、協議案第1号について原案のとおり決定することといたします。

続きまして、報告第1号町内小・中学校の卒業式等の日程について事務局から説明願います。

学務課主幹

報告第1号町内小・中学校の卒業式等の日程について、内容について説明いたします。

議案書の2ページをお開き願います。

報告第1号 町内小、中学校等の卒業式等の日程について。

別海町立認定こども園、小学校、中学校の卒業式等の日程を決定したので報告する。

議案書3ページをお開き願います。

議案書3ページには卒業式、入学式の日程表を載せております。中央から左側には平成30年度の卒業式の日程、右側には平成31年度の入学式の日程をそれぞれ記載しており、上段は小学校、中段部分は中学校、一番下は幼稚園となっております。

はじめに、平成30年度の卒業式の欄から説明いたしますが、小学校については、3月18日若しくは3月19日のいずれかにおいて開催する日程となっており、18日に行う学校は、野付小、上風連小、中春別小の3校、その他の小学校5校については19日での開催を予定しております。

続きましてその下、中段部分の中学校についてですが、平成30年度の卒業式を3月13日若しくは3月14日のいずれかの日程での開催を予定しております。

13日に行う学校は、上風連中、中春別中、上西春別中、上春別中の4校、その他の中学校4校につきましては14日での開催を予定しております。

認定こども園につきましては、公立幼稚園3園いずれも、3月15日での開催予定となっております。

次に、用紙右側の平成31年度の入学式についての説明となりますが、町内小学校、中学校16校すべてが4月8日に行われる日程となっており、午前は小学校、午後には中学校での開催を予定しております。

続いて、認定こども園ですが、公立幼稚園3園いずれも4月9日での開催を予定しております。

今後、幼・小・中に係る式への出席委員につきましては、教育長はじめ各教育委員さんの日程等を調整させていただきながら、ご出席をお願い

	いしたいと考えております。 以上で報告第1号の説明を終わります。
伊藤教育長	それでは、内容説明が終わりましたので、ご質問、ご意見等ありましたらお受けします。 (「なし」の声あり)
伊藤教育長	それでは報告第1号について原案のとおり了承することとしてよろしいですか。 (「異議なし」の声あり)
伊藤教育長	それでは報告第1号について原案のとおり了承することといたします。
	－【その他】－
伊藤教育長	それでは、議事については全て終了しましたので日程第5その他に入ります。
	事務局から何かございますか。
教育部長	一点だけよろしいでしょうか。
	木村委員から図書館の開館時間、生涯学習センターの開館時間についてよろしければもう少し具体的にお聞かせ願いますか。
木村委員	一般の働いている町民の方からすると、専門の書籍等を調べに行くのに、現在の開館時間帯では、出勤前や退社後、祭日等に図書館を利用することが困難という意見がありました。 また、子供さんが長期休暇の期間に図書館を利用できない、グループ学習をする場所の確保ができないという声もあります。 また、図書館の近くに別海高校の寄宿施設が完成しました。 見学者、利用希望の生徒、その御家族からは、立地、環境の良さ、セキュリティの高さ、食事面での高評価をいただきました。 その中で、図書館、郷土資料館も近く、学ぶ子供達にとって良好な環境との評価もいただきました。 その生徒達の利用に対しての配慮も必要かと思います。 新しくオープンする予定の生涯学習センターについても町民の期待は大きく、町民の様々な声を拾い上げていくことも必要かと思います。
図書館長	仕事前後というのは、早朝開館、深夜開館についてでしょうか。
木村委員	都会ではありませんので、すべての町民の意見を拾い上げていくことは職員体制からも難しいと思いますが、出勤前、退社後のどこかの曜日、時間帯に工夫がほしいのだという声だと思います。 別海の高齢化に対応し、コミュニティ・スクールの全町への進みにより、こういった方面へも町民の参加が加わることも必要かと思います。

図書館長

平日の開館時間は、１０時から１８時。

決まった休館日については、月曜日のみです。

それ以外祝日は休みですが、月曜日が祝日と重なった場合は、次の火曜日も休館としておりますので、年に何回は月曜日と火曜日の２連休となっていることもあります。

正月につきましては、年末に蔵書点検、蔵書整理を行っておりますので１２月２９日から休館日としておりますが、土日が重なっていても６日から開館しております。

その分が若干長いと感じられる方がいるかもしれません。

また、今月も年間の蔵書点検がはりますので、１週間貸出・返却をストップしてすべての蔵書、１０万冊を手作業で点検しております。

そういう時には使用していただけません。

日曜日は通常１６時に閉館しておりますが、職員の勤務体制の関係があり、町職員直営で行っていることから土日フルタイムで勤務すると一般の職員より長く勤務することとなります。１週間の勤務時間の調整で通常より２時間早い１６時となっております。

御意見をいただいておりますので、今の勤務体制でどれだけニーズに対応できるかということで、他の曜日で開館時間を遅くするなど調整することなどを考え、試行錯誤しているところであります。

ここ何年かの間で、図書館司書は１名増員のみです。通常の事業量も増えておりますので、開館でのシフト制へまわせる人材が不足しているという現状があります。

教育部長

いずれにしても、教育行政執行方針内で、利用しやすい図書館ということが明示されておりますので、改善できるところは改善していき、読書率向上に努めたいと考えます。貴重なご意見ありがとうございます。

伊藤教育長

その他に、ございませんでしょうか。

(その他なし)

伊藤教育長

委員さんから何かございますか。

(「なし」の声あり)

伊藤教育長

それでは、以上で本日予定していました案件については全て終了しました。

これをもちまして、第１回教育委員会議を閉会いたします。

皆さん御苦勞様でした。

－【閉 会】－